

清川村教育委員会会議録

日 時 令和6年11月27日（水）午前9時00分から10時00分
場 所 役場庁舎4階住民センター集会室
出席委員 山田一夫教育長、今野郁夫職務代理者、橋本直人委員、
山田比呂美委員、小室美和委員
事務局 小野参事兼指導主事、相原学校教育課長、中澤生涯学習課長、
岩澤副課長、奥脇指導主事

議事日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 案件
(1) 前回会議録の確認について
(2) 教育長の報告
(3) 幼小中一貫校事業の進捗について
(4) 令和6年度全国学力学習状況調査の結果について
(5) その他
(6) 教育支援委員会の審議結果について
- 4 次回の会議日程
- 5 閉会

教育長あいさつ

おはようございます。11月20日と21日に静岡県伊豆市と静岡市に一貫校の視察に行っていました。特に伊豆中学校建設途中の現場に入らせていただき、工事の様子やきめ細かい工夫がされていた箇所など視察できました。また、静岡県森林組合連合会が運営している貯木所では、木材の扱い方等大変参考になりました。翌日には、静岡市では両河内小中一貫校に赴き、小学校は新築という事で一貫教育の進め方等見学させていただき、静岡市並びに伊豆市の教育委員会の方には大変お世話になりました。様々な小学校でタブレットを使っただけの探求学習等情報教育の視察をしましたが、どこも村と同じように進めていました。今後、更に情報化時代になりますので、人工知能AIなどの技術をうまく活用する教育を模索しなくてはならない時期であると感じました。清川村でも小中学校様々な形で学校教育を進めておりますが、一歩先をリードしていたつもりでしたが、さらに先を見つめて進めていかなければならないと改めて感じたところであります。今日はよろしくお願いいたします。

案件（1）前回会議録の確認

◎審議の結果、異議なしで、10月分は原案のとおり承認。

案件（２）教育長の報告

◎教育長から別紙「資料２」により、教育長の動向について報告しました。

案件（３）幼小中一貫校事業の進捗について

幼小中一貫校建設に係るスケジュールについての説明を行う。

事務局 現在、施設整備基本計画策定業務を行っている最中で、緑中近辺の測量や土地の調査を進めているところです。村として、子ども家庭庁の設置もあったことから、保育園の扱いについて注視し事業を進めてきましたが、国では幼稚園との連携という形にとどまりました。一方で住民懇談会や一貫校説明会では、同じ村の子どもがいる保育園を取り残さないでほしいという意見が多く出されました。そこで、基本計画の中に保育園を入れることが可能か、用地や地形の問題もあるので調査研究を本事業内で行うと業務を追加し、契約期間を３月まで延ばした次第です。また、学童の併設や防災災害時利用についても従前どおり、検討していきます。今後は来年度にパブリックコメントを行い、早ければ６月に基本計画の策定を予定しています。

案件（４）令和６年度全国学力学習状況調査の結果について

事務局 小学校の算数以外で小中ともに全国、神奈川県を平均を上回りました。小学校の質問紙調査の結果、ＩＴＣの利用は、全国では週３回以上活用している学校が６割に対して清川村は８割と多い結果です。また、課題としては、１日の学習時間の少なさやテレビ、スマホに費やす時間が多く、ここは学校だけでの対応が難しいところですので、家庭への働きかけも含め考えていかなければいけません。

一方、中学校では現状の生活への満足感や思いやりの高さがうかがえる結果になりました。清川村の強みであるＩＴＣの活用は肯定的な割合が高く、国語や数学など授業の内容がよくわかり、中学校の取り組みは良い数値が出ています。課題として、スマホの使用時間は家の人との約束を守っている割合が５割で、全国は７割になっているため、今後に向けてはたらきかけていきたい。

委員 小学生の算数は、ＩＴＣ活用しているのになぜ低いのか。導入は早かったがＡＩの活用など教員の研修も含めてどのようにされているのか。

事務局 算数については、数の計算、知識、技能の区分が低くでています。これは基礎、基本的な部分であり、問題文を増やし繰り返し定着させる部分になります。小学校では課題として挙げている箇所については今後対策を行っていくそうです。生成ＡＩは、小学校からの実践はありませんが、宮ヶ瀬中では生成ＡＩの活用を始めています。

委員 視察で見た電子黒板等最新の機器を村でも取り入れてほしい。

事務局 村では、タブレットを用いて、電子黒板の代わりにしています。

議長 機器の進化は早く、どのタイミングで導入するかタイミングが難しい。

委員 タブレットを使っている成果が出ているのは良いが、スマホの使い方が家で守られていないのは気になる。学校と家庭での連携があれば知りたい。

事務局 学校では指導していますが、家庭では不明確です。委員会が出している学び通信等でも情報提供しています。

議長 親が食事中にスマホを触ってしまうなど、各家庭でもスクリーンタイムのあり方は考えてもらわなければいけない。

委員 地域、社会をよくするために何かしてみたいと思っている生徒が少ないのが気になる。

事務局 全国より1割ほど低いですが、これは4月の調査なので探求学習等、地域の方がたくさん関わってくれているので、今後変わっていくのではと期待しています。

委員 年数回、村でアンケートをとってみて、子どもの行事等での気持ちの変化を見てみたい。

案件（５）その他

令和6年12月令和7年1月分行事予定について
清川村文化祭について
しめ縄づくりについて 今回一般での参加もできる。

次回の会議日程

◎ 次回の教育委員会会議は、令和6年12月18日（水）午前9時から

閉会

職務代理 閉会宣言（午前10時00分）

令和6年12月18日

教 育 長 山 田 一 夫

教育長職務代理者

今野郁夫

委

員

橋本道人

委

員

山田比呂美

委

員

小室美和